

# 豊島区販売図書一覧

画像	書名・内容紹介	価格(税込)
	<p>『豊島区の街づくり 2023』</p> <p>豊島区の都市計画の足跡と現況を記し、様々な事業の概要と経緯をまとめたものです(令和5年10月発行)。</p>	2,000円
	<p>『豊島区未来戦略推進プラン 2024将来像編』</p> <p>子どもと女性にやさしいまちづくりなど、令和6年度に重点的に取り組む事業を紹介、また、区内を5地域に分け、それらの地域事業についても、地図を使って説明するなど豊島区の今後の方向性を示す冊子です。</p>	500円
	<p>『豊島区基本計画2022-2025』</p> <p>区の計画体系の最上位に位置する区政運営の基本的指針であり、各分野における計画を総合的に調整するものです。豊島区が目指す都市像と取り組むべき施策を体系的に示しています。</p>	1,000円
	<p>『豊島区都市づくりビジョン』</p> <p>「次世代が誇れる文化と魅力を備えた都市の創造」を基本理念とする、「都市計画に関する基本的な方針」。</p> <p>まちづくり目標の実現に向けた8つの戦略を掲げ、都市づくりの方針と、区内を12の地区に分けた地域別のまちづくり方針を示しています。</p>	1,300円
	<p>『トキワ荘のヒーローたち ~マンガにかけた青春~』</p> <p>昔、豊島区椎名町(現南長崎)にあったトキワ荘に、手塚治虫をはじめとする現代マンガの巨匠たちが住んでおりました。その巨匠たちが青春時代を過ごした場所は「伝説」として広く知られています。</p>	1,500円

	<p>『ぶらり雑司が谷 文学散歩』</p> <p>副都心線が開通して「雑司が谷」駅の誕生により刊行されたものです。雑司が谷は歴史のある土地で、風光明媚な所があり、また、江戸時代以降、多くの文人墨客が住んでいました。「散歩」に便利なようポケットに入れて持ち運べるようにコンパクトにできています。</p>	500円
	<p>『ぶらり中山道巣鴨 一歴史・文学散歩』</p> <p>巣鴨地区とその周辺の歴史文化を網羅し、染井霊園の案内図が付いています。散歩に便利な、ポケットに入る小型サイズです。この本を片手に、歴史ある中山道・巣鴨の地をめぐってみませんか。</p>	600円
	<p>『ぶらり長崎 一歴史・文学散歩』</p> <p>豊島区内の歴史・文学スポットをめぐり歩くガイドブックの3巻目。豊島区が形成される前、長崎町（村）と言われていた地域のぶらり歩きができるように、「椎名町駅」「目白駅」「池袋駅西口」「東長崎駅」から出発したパートで構成しています。</p>	500円
	<p>『歴史をたずねて 一豊島区の文化財一』</p> <p>区内を地域の特性に合わせて4分割し、地域ごとに江戸時代から現在までの歴史を紹介しています。区内にある文化財の他に、道しるべ、乳牛の牧場跡、埋蔵文化財の発掘等の歴史的情報も載せてあります。小冊子を片手に、豊島区の歴史をたずねてみましょう。</p>	100円